

④投稿いただいた写真



左の写真は、米子市在住の方が、船通山のカタクリの花を見に登山され、帰り道に写された1枚の写真です。桜が水田に映っている情景の美しさに魅かれたということです。

こんな風景でも、見られない人たちにとっては、写真に撮って残したいのです。この美しさは、人それぞれに感じ方は違うのですが、「大宮のよさ」として残したい風景の一つだと感じました。

何度も大宮へ来たいと感じてもらうために、情報発信や環境整備に汗を流したいものです。

スマート農業 大宮で実証開始！（その3）



【高宮橋付近の圃場】

スマート農業の実証開始を5月号のふるさとだよりに掲載しましたが、その後の様子をお知らせし、興味を持っていただければと思い、第3報をお届けします。

写真のように、ついに稲が実りました。5月15日、ドローンで種もみを播きました。その種もみが大きく育ち、稲となり、実をつけ、ついに9月下旬にコンバインで刈り取られました。

省力化をめざした、稲作農業の実証実験ですが、これから、鳥取大学と管理してきた(株)ファームイングで実証実験のまとめが行われるものと思います。第4報としてまとめについて今後掲載します。

【編集デスク】

◆今月号は、1月遅れとなりましたこととお詫び申し上げます。◆今月号は地域活性化のためのキーワードをもとに、大宮地域の「関係人口づくり」のヒントとなるようなことを掲載しました。大宮地域内外の方々との関係づくりに今後とも力を入れていきます。◆読者のみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。◆9月29日には、町の防災訓練が実施されました。人と人の結び付きが、災害を減らす一つでもあると感じました。(青)

《お問合せ》

大宮地域振興センター

〒689-5531
鳥取県日野郡日南町印賀 1516
TEL・FAX (0859)87-0911



Mail: skn0400@town.nichinan.tottori.jp
satoyamaomiya@sea.chukai.ne.jp
blog: <http://blog.zige.jp/satoyamaomiya/>
“じげプロ”よりお入りください

編集・発行: 大宮まちづくり協議会 総務部



これは、通称堤（つつみ）と呼ばれるため池に植生している草花である。鳥取県絶滅危惧Ⅱ類や準絶滅危惧種に指定されている水草である。そこには、「ジュンサイ」や「コウホネ」、「ハス」が植生している。大宮地域はカンナ流しや水田の耕作に必要なため池が多く存在している。特に印賀地区に多く、こうしたため池には貴重な植物が多く、大宮の宝である。ぜひ、大事にしよう。



令和元年度の「大宮まち協」の取り組みは、 『関係人口』と『持続可能』そして、『若者力』がキーワード

令和元年度の大宮まち協のキーワードは、「関係人口」と「持続可能」、そして、『若者力』です。このキーワードで事業を進めているところです。

今月は、この3つのキーワードの中の『関係人口』について、記事を作成してみました。

『関係人口』の取組みとは？



「関係人口」の取組みは、観光、「交流人口」と心理的なハードルの高い移住、「定住人口」の間、地域外の人々と地域の多様で継続的な関わり方を考える取組みです。

小田切徳美氏（明治大学教授）は「関係人口」を「農村に対し多様な関心を持ち多様に関わる人の総称」と言っています。大宮で考えると、下の表のように説明できます。

- (1) 「大宮」の特産品を購入する人
- (2) 「大宮」に寄付する人
- (3) 「大宮」に頻繁に訪問する人
- (4) 「大宮」でボランティア活動する人
- (5) 「大宮」でも定住する人(二地域居住など)
- (6) 「大宮」に移住・定住する人(関わりの段階)

一言でいうと、

『地域のファン』



『地域の課題解決にも関わってもらえる地域外の人々』

とのネットワークを拡げる取組みです。

このネットワークの構築のためにがんばりたいものです。そこから、移住定住に結びつくそうです。

関係人口づくりについてヒントとなることを4つ例をあげてお伝えします。



①毎年訪れてくれる象印マホービン



毎年、大宮を訪れてくれる象印マホービン（株）です。新入社員の研修として、春の田植え、秋の稲刈りと同じ人が、2回も訪れてくれます。



昨年からは、機械を使って田植えや稲刈りが行われています。大宮の田圃での農業体験が、仕事に役立つと喜びます。これからもよいお付き合いをしていきたいものです。

②「おおみや15夜」に多額の寄付

台風10号の接近により、やむなく中止を決定せざるを得なかった「おおみや十五夜」です。開催の中止など1度もなかった「おおみや十五夜」です。準備も実行委員会で順調に行っていたのですが・・・。

本年度は、ふるさとだより73号に、寄付をお願いする記事を掲載しました。すると、直ぐに寄付金が振り込まれてきたのです。

大宮出身者17名の方々に14万3千円もの寄附をいただきました。残念ながら今年の十五夜は中止になりましたので、来年度この寄付金も活用させていただいて、花火を打ち上げたいと思います。本当にありがとうございました。

③大宮を訪れた人々の声

下記の文章は、八幡山の頂上にある宝篋印塔に常備されているノートの一部です。長い間、ここに置かれており、町内外の方々の感想が書かれています。

ようこそお出でいただきました。とてもありがたいことです。

- ◇平成31年1月10日（木）：はじめて来ました。一度来てみたかったので感動です。（日南町Mさん）
- ◇平成31年3月27日（水）：歴史の重みを感じる（米子市 Uさん 境港市 Nさん）
- ◇令和元年5月3日（金）：米子から、永代の念願叶い 山道の整備が有難かった お陰さま 有難う
- ◇令和元年7月22日（月）：とても「ステキ」な塔です。（鳥取市気高町）
- ◇令和元年7月28日（日）：ここからの景色最高ですね。緑一杯の自然に包まれて、しばし和みました。文化財保護大変でしょうが、がんばって下さい。（米子市上福原 T、Mさん）
- ◇令和元年8月15日（火）：15日に5歳になる双子と共に（東京都 Kさん）

